

学校感染症

学校は集団生活のため感染症が広がりやすく、予防と早期対応が大切です。
 下記の感染症は出席停止期間が学校保健安全法により決まっており、学校欠席扱いとなりません。
 感染した場合には、学校に報告するとともに、出席停止期間を守るようよろしくお願いします。

第一種：感染症予防法の一類感染症と二類感染症（結核を除く）…入院等の措置が必要

病名	出席停止期間
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ	治癒するまで

第二種：飛沫感染するもので、児童生徒で感染が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症

病名	好発時期	症状	感染経路	出席停止期間
インフルエンザ	冬	急な発熱、頭痛、筋肉痛、喉の痛み、体のだるさ、咳	飛沫	発症した後、5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで
百日咳	夏	2週間以上続く咳、長く咳き込んだ後、ヒューと笛声を発する	接触・空気	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹(はしか)	冬～	発熱、咳、鼻水、目の充血、口の中の白い水疱、発疹	飛沫・空気・接触	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	冬～	発熱、頭痛、体のだるさ、耳の下の腫れ	接触・飛沫	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、全身状態がよくなるまで
風疹(三日はしか)	春～	バラ紅色の発疹、リンパの腫れ	飛沫	発疹が消えるまで
水痘(水ぼうそう)	冬～	発熱、紅斑、水疱、かさぶた	飛沫・空気	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	夏	発熱、喉の痛み、結膜炎	接触・飛沫	症状が消えた後2日を経過するまで
結核		2週間以上続く咳、痰、微熱、体のだるさ、胸痛	飛沫・空気	医師の診察において感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	冬	突然の発熱・頭痛・けいれん・意識障害・髄膜刺激症状	飛沫	医師の診察において感染の恐れがないと認めるまで

第三種：学校教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性がある感染症

病名	出席停止期間
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症〔感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症(猩紅熱)など〕	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

■上記一覧の感染症（インフルエンザを除く）にかかった場合…[完治証明書（医療機関・医師が記入）](#) [PDF]

■インフルエンザにかかった場合…[完治報告書（保護者が記入）](#) [PDF]

を学校に提出する必要があります。学校から配布される用紙、または PDF をプリントアウトしたものをお使いになり、学校に提出ください。

☆学校欠席者情報収集システム導入しています☆

■児童生徒の欠席情報（発熱・頭痛・下痢など感染症の疑い、インフルエンザやおたふくなどの感染症）について集計をとり、地域で学校感染症の情報をリアルタイムで共有しています(個人情報を含みません)。

■かぜや腸炎、インフルエンザやおたふくなどの感染症又はその疑いで学校を欠席する場合は、“体調不良”ではなく、“発熱”や“咳”、“下痢”などの**症状や診断名**を学校に報告するよう、宜しく申し上げます。

■ご家庭でもインターネットを通して、地域の学校欠席者情報を確認することができます。

子どもたちの感染症対策に、ぜひご活用ください。

《URL》 https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php